



人権イメージキャラクター
人KENまもる君



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん

いじめについて

豊後高田市立高田中学校 3年 是永 妃奈湖

私がなぜいじめについて書こうと思ったかという、自分がいじめられていたからです。

私は小学三年生のときに初めて仲間はずれにされました。一人にされるだけでなく、悪口もたくさんいわれました。ずっと一人というわけではなく、一ヶ月～二ヶ月ほどいじめられていたかと思うと急に普通にはなしかけてきて、またいじめられるのくり返しで、学校に行くのがこわくてしかたなかったです。一回だけ、いじめようと言っていた所をみてしまったことがあります。小学四年生のある木曜日の六時間目。次の日が遠足でわくわくしながら習字の筆を洗っていた時、「なあひなこちゃん仲間はずしにしょ。」と言っていました。今でもはっきり覚えています。一生忘れない、最悪な思い出です。

でも私は、自分をいじめていた人のことよりいじめられていたことをだれにも相談できない勇気のない自分が大嫌いでした。いじめられていてとても辛いのに誰にもいえない。毎日毎日そんな生活をしているうちに、死にたいというより、消えたいと思うようになりました。なぜ、死にたいではなく消えなくなったのかというと、みんなの記憶の中でも生きたくないと思ったからです。私が死んでもどうせ何年かたったらみんな忘れてしまうだろうけど、その数年でさえなんとなく嫌に思いました。ならもう私が存在しない世界のほうが幸せなのではないかと感じました。

中学生になっても、ありもしない噂を流され、それを信じた先輩や後輩、同じ学年の人に嫌われました。

積極的になにかをすることができないせいで、人をイライラさせてしまうこともありました。

中学三年生になってしばらくたった時、学校でも家でもいろいろ環境が変わったせいで辛い思いをすることが増えました。せっかく消えたいという思いがなくなりかけていたのに、また思いはじめるようになりました。辛い、苦しい気持ちにたえきれず、勇気をだして初めて「SOSミニレター」への手紙をだしました。正直、とても不安でした。人に消えたいということを伝えたのはそれが初めてだったので、返事がくるのが怖かったです。死ぬのはだめだ。自殺はするな。あなたより辛い人はたくさんいる。そんなことをいわれたらどうしようと考えてしまい、返事がくるまであまり眠れず、ぼーっとしてしまうことが増えました。でも、手紙の返事を読んだ時そんな心配しなくてよかったなと思えました。相談してよかったと思いました。そして、ほんの少しだけ生きたいと思えました。誰かに消えたいということを相談したのは初めてだけど、こんなふうに受け止めてくれるんだと思い、泣いてしまいました。相談するだけでとても心がかかるくなるんだなと思いました。

私は、相談したことによって将来の夢ができました。それは、幸せになることです。今はまだ人の目を気にしすぎて生きづらいけど最期に「幸せだったな。」と思えるようになりたいです。

私は、いじめられたことによって、誰かに相談することができるようになりました。そして、これから先は私と同じような気持ちの人を助けたいと思うようになれました。いじめられていたからこそ、相談の大切さやいじめの怖さを学びました。その学びや成長をいかして、少しずつ生きたいという気持ちを増やし、夢を叶えるために自分を信じて生きていこうと思いました。

私は無意識のうちに人をイライラさせてしまうので、できるだけ積極的に発言や行動をして、人の話をちゃんと聞き、人の気持ちを理解し、自分の感情をコントロールできるような大人になりたいです。

そして、幸せになりたいです。